



自律と共生



3/12(金) 第74回卒業証書授与式→心から感動した最高の式でした

本校の第74回卒業証書授与式を無事に挙げてきました。今年度は、守山中学校と二瀬中学校が統合して初めて行う歴史的な式でした。校長式辞では、コロナ禍でも「ピンチをチャンス」に変えるため、何事にも「本気で楽しく」頑張り続けた卒業生の素晴らしい取組を紹介しました。

- (1) 中体連大会が中止になっても、仲間と共に最後まで全力でやり遂げた部活動
- (2) 再々変更、日帰り、しかも雷雨、それでも仲間と笑顔で心から楽しんだ修学旅行
- (3) 規模縮小、保護者や地域の方々の来場なしでも、充実した内容だった最高の文化祭

これだけピンチをチャンスに変えた皆さんなら、これからも大丈夫！と太鼓判を押して式辞を結びました。それ以上に、新旧生徒会会長による送辞、答辞、式歌の合唱とピアノ伴奏は素晴らしかったです。私の心は震えっぱなしでした。改めて、守山中学校の生徒たちの持つすごさを実感し、心から誇りに思いました。式後の退場でも、前を向いて堂々と歩く姿、素敵でした。

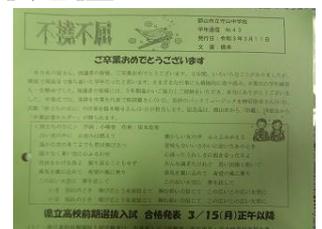
コロナ禍で、例年と違うことがありました。式後も保護者の方は、見送り開始まで体育館に残って3学年主任の話を聞いたり、思い出の映像を見たりしていただきました。1学年生徒は、校舎2階ホールでリモートによる参加でした。会場と同じ緊張感を持って臨むことができました。

このように無事に式を行うことができたのも、生徒・教職員・保護者・地域が一体化した「チーム守山」の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。



1年間、毎週末発行され続けた素晴らしい1・2・3学年通信！

- 1年主任日渡先生「HOP！」
- 2年主任福本先生「大空」
- 3年主任橋本先生「不撓不屈」
- 3名の学年主任の先生方は1年間、毎週末に学年通信を



発行してくれました。どれもが熱い思いと正確な情報が掲載され、生徒の皆さんや保護者の方々だけでなく、私にとっても大変勉強になる通信でした。本当にありがとうございました。

統合記念楯が完成しました→二瀬中ショーケースに

守山中と二瀬中との統合記念の素晴らしい楯が完成しました。「共に宇津峰を 仰ぎ育ちし 田村の子ら 一つ学び舎にて 友情を交わす 守山の地に益々 活気満ち溢れん」国語科の宇内先生は、統合して共に学ぶ生徒たちへ素敵な表現をして下さいました。玄関右側にある二瀬中メモリアルショーケースの中にトロフィー等と飾られていますので、ぜひご覧にお越し下さい。



3/23(火) 令和2年度修了式 校長式辞「ピンチをチャンスに！」

昨年の子日の朝日新聞などに掲載されたデパートのそごう・西武のお正月の広告に、大相撲の炎鵬関が出ていました。タイトルは「さ、ひっくり返そう。」まず、読んでみます。

大逆転は、起こりうる。
わたしは、その言葉を信じない。
どうせ奇跡なんて起こらない。
それでも人々は無責任に言うだろう。
小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。
誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。
今こそ自分を貫くときだ。
しかし、そんな考え方は馬鹿げている。
勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。
わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。
土俵際、もはや絶体絶命。



最後は、「土俵際、もはや絶対絶命」の大ピンチ！

この後、広告には続けて、次のように書いてあります。「ここまで読んで下さった、あなたへ。文章を下から上へ一行ずつ読んで下さい。逆転劇が始まります」

それでは、実際に読んでいきます。皆さんもしっかりと読んで下さいね。

いかがでしたか？「絶体絶命」から「大逆転は起こりうる」に見事、変わりました！

この広告に込めた思いについて、そごう・西武広報担当者はこう話します。「逆境にあっても、前向きに生きる象徴的なお客様像＝『わたし』として、広告の中の主人公としています。私たちは、そうした逆境に負けずに、自分らしさを追求するすべての方々を応援していきたいと考えています」

それでは、なぜ炎鵬関を起用したのかについては、こう話します。「現在、幕内で最軽量の力士でいらっしゃいます。ご自身いわく、小兵であることをハンデと思わず、むしろ強みとしてポジティブにとらえ、大活躍していらっしゃいます。その姿が、今回のコピーの内容にぴったりだという点から、出演をお願いしました。」



「ピンチをチャンス」にするたくましさは、正に「夢に向かってがんばる姿」そのものです。自分の夢とは、自分をさらに成長させてくれる大切な目標です。自分の夢に誇りを持ち、くじけずに努力していくことは、自分自身を磨いていくことにもつながります。

そのためには、まず、自分の目指すゴール＝目的を設定しなければなりません。目的にたどり着くためには、何をどのように頑張るかという目印＝目標が必要です。皆さんが自分の夢を実現させるためには、4月からの1年間、「どんなことをがんばるか」という目標設定が最重要です。ぜひ、進級前の春休みに考えてみて下さい。この努力は、必ず来年の3月に大きな実を結びます。

令和3年度も「ピンチをチャンスに」「本気で楽しく」「チーム守山」で、目標を確実にやり遂げる努力を積み重ねていきましょう。私も頑張ります。 郡山市立守山中学校長 佐久間一晃

コロナ禍であった令和2年度も、生徒、教職員、保護者、地域が一体化した「チーム守山」の皆さんのご尽力のおかげで、教育活動を無事に円滑に行うことができました。保護者や地域の方々の物心両面にわたるたくさんのご協力・ご支援に心から感謝申し上げます。来年度も「本気で楽しく」、保護者や地域の方々と共に、未来を創る子どもたちを育てていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。お世話になります。 郡山市立守山中学校長 佐久間 一晃

